

消化器科 2005 年年報

1. 研究業績

原著論文－欧文

1. Sawada K, Masaki N, Hayashi S, Zeniya M, Ishikawa T, Takahashi H, Ohnishi K, Fukunaga K, Hara N, Yamamoto T, Hada T, Toda G.
Immunomodulatory effects of selective leukocyteapheresis as a new adjunct to interferon- α 2b plus ribavirin combination therapy: a prospective study in patients with high plasma HCV viraemia.
J Viral Hepatitis 12(3): 274-282, 2005.
2. Jutavijittum P, Jiviriyawat Y, Yousukh A, Hayashi S, Toriyama K.
Evaluation of a hepatitis B vaccination program in Chiang Mai, Thailand.
Southeast Asian J Trop Med Public Health 36(1): 207-212, 2005.
3. Furuhashi T, Yamaguchi Y, Wang FS, Uchino S, Okabe K, Ohshiro H, Kihara S, Yamada S, Mori K, Ogawa M.
Hepatic CCR7 low CD62 low CD45RC low allograft dendritic cells migrate to the splenic red pulp in immunologically unresponsive rats.
J Surg Res 124 : 29-37, 2005

原著論文－和文

1. 橋本直明、平野正憲、滝川 一、佐藤芳之、池田有成、正木尚彦、林 茂樹.
C 型慢性肝炎における cDNA マイクロアレイによる遺伝子発現とインターフェロン治療成績の検討.
肝臓 46(10): 633-634, 2005.

単行本－和文

1. 林 茂樹、山下浩子.
肝膿瘍.
看護のための最新医学講座「第 2 版」第 5 巻肝・胆・膵疾患、井廻道夫編集、中山書店、東京、p242-246、2005.
2. 山田真和、林 茂樹.
肝硬変.
EBM 内科処方指針、黒川 清、寺本民生編集、中外医学社、東京、p463-466、2005.
3. 山田真和.
アルコール性肝障害.
消化器疾患最新の治療 2005-06、戸田剛太郎、菅野健太郎、上西紀夫編集、南江堂、東

京、p 334-336, 2005.

口頭発表－国際学会

1. Nakamura M, Takii Y, Mori T, Komori A, Yokoyama T, Daikoku M, Matsumoto T, Migita K, Yatsuhashi H, Ishibashi H, Masaki N, Adachi H, Watanabe Y, Nakamura Y, Takezaki E, Harada H, Sando T, Saoshiro T, Komatsu T, Shimada M, Hayashi S, Kobayashi M, Sodeyama T, Muro T, Masumoto A, Sugi K, Lee L, Shums Z, Norman GL.

Anti-gp210 antibody in combination with anti-centromere antibody may identify PBC patients who are at high risk for end-stage hepatic failure.

The 56th Annual Meeting of American Association for the Study of Liver Diseases, San Francisco, USA, November, 2005.

口頭発表－国内学会・研究会

1. 林 茂樹.

医療機関の災害対応.

第3回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会、東京、9月、2005.

2. 林 茂樹、山田真和、川村紀夫、福島誠子、有山茂和、高野範之、倉本憲明、山口智也、山本五郎.

C型慢性肝炎における上腹部加温効果の検討（第1報）.

日本ハイパーサーミア学会第22回大会、岡山、9月、2005.

3. 福島誠子、高野範之、小林克也、原田裕治、川村紀夫、山田真和、林 茂樹、倉本憲明.

集学的治療が奏功した肝細胞癌の一例.

第41回日本肝癌研究会、幕張、6月、2005.

4. 林 茂樹、山田真和、川村紀夫、福島誠子、有山茂和、高野範之、八橋 弘、石橋大海、正木尚彦、相澤志優.

HOSPnet を利用する全国肝疾患死亡者調査

第59回国立病院総合医学会、広島、10月、2005.

5. 内野康志、有山茂和、福島誠子、高野範之、川村紀夫、山田真和、林茂樹、倉本憲明.

十二指腸狭窄を合併したため2段階のドレナージが必要であった仮性膵嚢胞の1例.

第287回日本消化器病学会関東支部例会、東京、12月、2005.

資料

監修・講演・司会・座長等

監修

林 茂樹.

ユアクリニック：胃がもたれる、くらしの知恵第 309 号、p26-27、2005.

講演

林 茂樹、高野範之、福島誠子、小林克也、原田裕治、川村紀夫、山田真和.

C 型慢性肝炎難治例に対する肝温熱療法の試み.

第 41 回三多摩肝臓談話会、吉祥寺、2 月、2005.

林 茂樹.

C 型慢性肝炎に対する治療の工夫.

八王子肝臓病友の会、八王子、6 月、2005.

山田真和.

コンセンサスインターフェロン臨床成績調査中間報告—第 2 報—

第 4 回本郷 C 型肝炎治療研究会、東京、2 月、2005.

山田真和.

多施設共同研究での C 型肝炎に対する C-IFN 療法の治療成績 (本郷 C 型肝炎治療研究会).

コンセンサスセミナー 2005、東京、3 月、2005.

山田真和.

C 型肝炎に対するリビリン+ インターフェロン療法でのリンパ球ケモカイン受容体変動.

第 2 回多摩山梨肝炎肝臓研究会、東京、4 月、2005.

山田真和、林茂樹.

肝発がん防止を目指した C 型肝炎治療と病診連携.

日本肝臓学会肝がん撲滅医療講演会、立川、7 月、2005.

山田真和.

慢性肝炎治療に関する最近の話題.

立川市・昭島市肝炎勉強会、昭島、7 月、2005.

山田真和.

慢性肝炎治療に関する最近の話題.

国立市肝炎勉強会、吉祥寺、9 月、2005.

座長

林 茂樹、尾島英知.

ポスター：症例報告：非 B 非 C 型肝癌 2

第 41 回日本肝癌研究会、幕張、6 月、2005.

林 茂樹.

ポスター：肝疾患 2

第 59 回国立病院総合医学会、広島、10 月、2005.

林 茂樹.

講演：肝炎ウイルス検診と C 型慢性肝炎に対する治療指針（泉並木）

ペガシス発売 1 周年記念講演会、立川、1 月、2005.

林 茂樹.

特別講演：これからの厚生労働行政の方向（中島正治）

第 12 回新世紀会、東京、1 月、2005.

林 茂樹.

特別講演：モデルを用いた肝炎病態の解析（小池和彦）

第 4 回本郷 C 型慢性肝炎治療研究会、東京、2 月、2005.

林 茂樹.

講演：最近の胃がん治療について（森 一博）.

第 1 回消化器病ネットワーク講演会、東京、6 月、2005.

林 茂樹.

講演：慢性肝炎に対する最近の話題（山田真和）.

立川市・昭島市肝炎勉強会、昭島、7 月、2005.

林 茂樹.

講演：慢性肝炎に対する最近の話題（山田真和）.

立川・国立肝炎情報交換会、吉祥寺、9 月、2005.

山田真和.

症例検討：ラムブジン投与中肝細胞癌再発のみられたゲノタイプ A の B 型肝硬変の 1 例.

第 6 回多摩ラムブジン勉強会、吉祥寺、11 月、2005.

山田真和.

講演：肝臓穿刺術に伴う合併症について（白石光一）.

第 3 回八王子肝臓研究会、八王子、11 月、2005.

川村紀夫.

講演：消化器内視鏡による中・下咽頭表在癌の診断と治療（武藤 学）.

第 7 回北多摩中央消化管内視鏡粘膜切除術セミナー、立川、7 月、2005.

院外肝症例検討会

福島誠子、原田裕治、山田真和、林 茂樹.

症例提示：SAM 剖検例、肝動脈瘤による閉塞性黄疸。

2 水会、東京、2 月、2005.

高橋 亨、伊藤 豊、有阪理英、植田利貞、山田真和、林 茂樹.

TS-1 が著効した直腸癌同時性肝転移の 1 例.

第 31 回肝癌症例検討会、東京、5 月、2005.

講義

山田真和.

自己免疫性肝疾患.

産業医科大学医学部内科学講義（非常勤講師）、北九州、5 月、2005.

査読

林 茂樹.

Hepatology Research 1 件

日本診療録管理学会 2 件